

第18回 大学施設マネジメント研究会

ライフサイクルを考慮した 大学施設の戦略的維持管理

主催：国立大学法人名古屋大学
施設・環境計画推進室
工学部施設整備推進室

開催主旨

我が国のインフラが今後急速に老朽化することが予想される中、国及び地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理等を推進するため、平成25年11月「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。文部科学省でも「文部科学省インフラ長寿命化計画」を策定するとともに、各国立大学法人等に向けて「インフラ長寿命化計画」の策定を求めています。

一方、国立大学法人等施設は、既存施設を有効活用しながら施設の長寿命化によりトータルコストの縮減等が求められていますが、老朽化が進行し安全面、機能面、経営面で大きな課題を抱えています。

第18回を迎える本研究会では、適切に施設の長寿命化を図ることにより、教育研究機能の向上と経営基盤の強化を図るため、施設の長寿命化に向けたライフサイクルの考え方や具体的な方策について議論を行いたいと思います。

■開催日時（要申込）

2018年3月2日（金）

13:30～17:00（受付開始：13:00）

■会場

名古屋大学 ES 総合館 ES ホール（定員 200 名）

■プログラム

開会挨拶：中西 幸博（名古屋大学 施設管理部・部長）

司 会：三森 弘（施設・環境計画推進室・講師）

主旨説明：恒川 和久（名古屋大学 工学部施設整備推進室・室長）

第1部 13:45～15:05

講演1：笠原 隆（文部科学省大臣官房文教施設企画部参事官）

「国立大学法人等施設の長寿命化に向けた
ライフサイクルの最適化」

講演2：板谷 敏正（プロパティデータバンク株式会社 代表取締役社長
・芝浦工業大学客員教授）

「データサイエンスを活用した不動産・施設マネジメント
～ライフサイクルを見据えた事後保全と予防保全」

第2部 パネルディスカッション 15:20～17:00

上記講演者を交え Q&A セッション

コメンテーター：小篠 隆生（北海道大学大学院工学研究院・准教授）

コーディネーター：恒川 和久

意見交換会 17:15～19:00（参加費 3,000 円）

■申込締切：2018年2月23日（金）

申込・問合せ先：名古屋大学工学部施設整備推進室（担当）角野

E-mail：kakuno.kanako@g.mbox.nagoya-u.ac.jp

TEL：052-789-3742

名古屋大学ファシリティマネジメント研究会ホームページ：<http://fm.campus.provost.nagoya-u.ac.jp/index.html>